

現研
パワーアップ
研究セミナー
26

戦略は実行システムの改革段階に入った

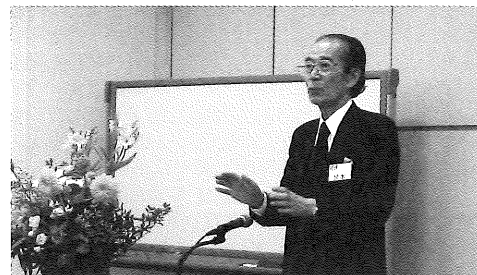
戦略障壁を打破する

—2001年下期の重点政策—

■講師 (株)現代経営技術研究所
所長 鈴木 成裕

■日時 2001年9月18日(火) 13:15～16:15

■会場 東京国際フォーラム G405 ※裏面地図をご参照ください。



セッションⅠ 現在の産業環境の判断 13:15～13:45

1. 国際的連携システムの弱さ
 2. 日本を運営するシステムの劣化
 3. 突然の崩落
 4. 情報・通信領域の依然としての拡大
 5. 組織の意思とその裏づけが競争力
- <10分間質疑>

セッションⅡ 戦略・システム力の強化 13:55～14:35

1. トラブルポイントへの戦略力の集中
2. 新ターゲットサイトの探索
3. 3面評価の現実的適用
4. システム改革者の短期育成
5. 2001年下期を突破する
6. 本社の見通す力、現場の考える力
7. 問題打破の推進戦略チームの組織化

討 議：当面する問題の対策 14:35～15:05

なぜ判断を間違えるか—強くなる会社の条件
その他(上記講義に対する質疑・反論を含む)
<コーヒーブレイク 20分>

セッションⅢ 発展のための総力展開 15:25～16:15

1. 今を突破し、未来につなげる
2. 未来の思考で現在の問題をつかむ
3. 企業内官僚制を打破
4. 重層する過去の指示の整理
5. システム開発への助言
6. 後期戦略への助言
7. 人材育成の強化部分

※参加者から提起された問題については、時間が限られているため、後日フォローアップ会合を持つ場合があります。

このセミナーについて

この消費者需要の不足の中で新領域を発見して成長のきっかけをつかむか、その厚い壁の中で立ち止まるかは、単に戦略の善し悪しだけでなく、実行段階における戦略的行動力とそれを支える管理、業務システムの善し悪しにかかってまいります。

戦略コンセプトを論議した段階から、今企業は新しい方針やターゲットの推進のためには、各領域におけるシステムの戦略的再構築が必要であることを認識しています。

現実には、目標達成のために努力している各部門はそれぞれ行動障壁にぶつかっています。古い条件の上に構築されたシステムで、新しい活動をする困難さは、日々のトラブルを伴って、努力に対する成果の少なさを明らかにしています。

この原因には、変化のスピードと環境の急変に対して、過去の条件に合わせて作られたシステムの改善が間に合わない事実があります。また同時に、事業推進構想の不備や、過去に引きずられる社員の意識などもあります。

以上の状況に基づき、講師は、どの会社にも共通に必要なと思われる対策を述べたいと思います。

◆ 講師紹介 ◆

鈴木 成裕(すずき げいご)

(株)現代経営技術研究所所長。経営政策、システム開発、教育指導を中心に企業・団体の経営コンサルティングに携わる。戦略問題の第一人者として知られる。著書として『システムの時代』(ダイヤモンド社)『経営転換の構想』(同文館出版)『戦略教育』(マネジメント社)『企業意思のリデザイン』(講談社)『経営構想の策定と実現』(産能大学出版部)他、多数。



鈴木成裕著『経営構想の策定と実現』
(産能大学出版部刊)



鈴木成裕著『企業意思のリデザイン』
(講談社刊)

現研36周年

(株)現代経営技術研究所 現研 IMME
[本部]〒113-0033 東京都文京区本郷1-25-25 日商連ビル TEL03-3813-7338(代) FAX03-3813-6964 E-mail honbu@gen.ken.co.jp
[経営調査部分室]〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-17 ICNビル TEL03-3813-7910(代) FAX03-3813-7920
[ロンドン事務所] GORDON HOUSE, 6 LISSENDEN GARDENS, LONDON NW5 1LX U.K. TEL44-20-7482-8813